



Eメール kusunoki_mori@feel.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/hoiku/kusunoki/>

クラス会のご参加ありがとうございました

4月から5月にかけて、各クラスでクラス会が行われました。新年度になり、進級や入園という環境の変化を経て、子どもたちの今現在の様子や、今後予想されるだろう姿を担任から伝え、クラス委員さんを中心にどのクラスもとても和やかに会が進められました。特に少人数に分かれてのグループ討議では、日ごろの子育ての悩み、困っていることを聞いてもらい、うちも一緒！と共感したり、こうしてるよとアドバイスをもらったりしながら、お母さんお父さん同士で様々な話をする様子が見られました。大変だなと感じている子育ても大笑いしながら子どもの姿を伝え合うことで、気持ちが軽くなることがあります。

クラス会や親睦会、様々な父母と職員の会の活動は、子どもたちが楽しいと思える行事を職員と一緒に考えていくことで保護者同士、保護者と職員がつながりあい、自分の子どもだけでなく、どの子の成長も楽しみに感じられること、子育てを孤立させないことが大事だと考えています。人と人が関わり合いながら、協力し合いながら作っていくことでそれを間近でみている子どもは幸せに感じます。幸せな笑顔がたくさん見られるといいですね。

今年で最後・・・スケート教室

毎年12月や1月に計画されるスケート教室ですが、今年度はスケート場の閉鎖ということもあり、最後のスケート教室にこの5月にちょう組さんが行ってきました。一般の方

への開放はすでに終了していますが、卒園児のMちゃんのお父さんのご配慮により、本当の最終日31日に行かせていただくことになりました。Nさんのご指導の下、はじめはスケート靴に慣れるようにリンクの周りを歩き、その後はまず、四つ這いでリンクにあがる、座る、そして立



ち上がり方、足の出し方等丁寧にご指導いただきました。始めは転ぶことが多かった子どもたちも、少しずつ足が出せるようになり、細かいテンポではありますがリンクの上を歩いたり、滑ったりできるようになりました。時々疲れるとリンクから上がって休憩する子もいましたが、Nさんが休憩しようと声をかけてもほとんどの子は滑り続けていました。スケートは重心を前に置いたり、足を出すときの感覚など、竹馬とつながる部分があります。スケート場がなくなり、この経験ができなくなると思うと非常に残念

ではありますが、これからも子どもたちにどんなことが必要か、保育の中で取り入れられることは何なのか考えながら身体づくりに取り組んでいきたいと思います。Mちゃんのお父さん、そして、当日ボランティアで参加下さったちょう組保護者の皆さん、ありがとうございました。

皆さんにお配りしたスケート場存続の署名もぜひご協力下さい！

ありがとうございました

Rちゃん・・・梅をたくさんいただきました

Rちゃん・・・お茶の葉をいただきました